

【資料編】

目 次

〔資料編 1〕 薩摩川内市農林漁業の六次産業化の促進に関する条例	31
〔資料編 2〕 六次産業化実施計画の承認を得た者の事業概要	33
〔資料編 3〕 市民・農林漁業者・六次産業化アンケート調査の結果	37
（1）調査の概要	37
（2）市民アンケート調査の結果	38
（3）農林漁業者アンケート調査の結果	53
（4）六次産業化アンケート調査の結果	93
〔資料編 4〕 農業・農村振興、六次産業化の取組事例（先進地視察研修より）	108
（1）鐘の岬活魚センター（福岡県宗像市）	108
（2）南筑後普及指導センター（福岡県みやま市）	109
（3）JAにじ（福岡県うきは市）	110
（4）あさぎり町松尾集落（熊本県あさぎり町）	111
〔資料編 5〕 意見聴取会について	112
（1）本土における意見聴取会	112
（2）甕島における意見聴取会	113
〔資料編 6〕 パブリックコメント及び地域別計画（素案）説明会について	114
（1）パブリックコメントについて	114
（2）地域別計画（素案）説明会について	114
〔資料編 7〕 基本計画の策定経過及び薩摩川内市農林水産政策審議会委員名簿	115
（1）策定経過	115
（2）薩摩川内市農林水産政策審議会	116

〔資料編 1〕

薩摩川内市農林漁業の六次産業化の促進に関する条例（平成 25 年薩摩川内市条例第 46 号）

（目的）

第 1 条 この条例は、本市において農林漁業の六次産業化を促進することが農林漁業者の所得の確保及び本市における雇用の増大にとって重要であることに鑑み、農林漁業の六次産業化の実施を支援するための措置を講ずることにより、本市の重要な産業である農林漁業の振興及び農林漁業経営の改善を図り、もって本市の経済社会の活力の向上に寄与することを目的とする。

（定義）

第 2 条 この条例において「農林漁業者」とは、現に農業、林業又は漁業を営む市民をいう。

2 この条例において「農林漁業者等」とは、農林漁業者又は農林漁業者の組織する団体（農林漁業者が主たる構成員又は出資者（以下「構成員等」という。）となっているものを含む。）をいう。

3 この条例において「農林漁業の六次産業化」とは、農林漁業者等が自らの生産に係る農林水産物（当該農林漁業者等が団体である場合にあっては、その構成員等の生産に係る農林水産物を含む。以下「生産物」という。）の価値を高め、又は生産物の新たな価値を生み出すため、その創意工夫を発揮して主体的に実施する事業活動であって、生産物の生産及びその加工又は販売を一体的に行うものをいう。

4 この条例において「六次産業化法」とは、地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（平成 22 年法律第 67 号）をいう。

（六次産業化基本計画）

第 3 条 市長は、農林漁業の六次産業化の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、農林漁業の六次産業化の促進に関する基本的な計画（以下「六次産業化基本計画」という。）を定めるものとする。

2 市長は、六次産業化基本計画を定めるに当たっては、薩摩川内市農林水産政策審議会の意見を聴かなければならない。

3 市長は、六次産業化基本計画を定めたときは、速やかに、これを公表しなければならない。

4 前 2 項の規定は、六次産業化基本計画の変更について準用する。

（補助金の交付等）

第 4 条 市長は、農林漁業の六次産業化を実施する農林漁業者等に対し、予算の範囲内において、その実施に必要な費用の一部を補助金として交付することができる。

2 農林漁業者等は、前項の補助金の交付を受けて農林漁業の六次産業化を実施しようとするときは、規則で定めるところにより、あらかじめ、その実施しようとする農林漁業の六次産業化について次に掲げる事項を記載した計画（以下「六次産業化実施計画」という。）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

(1) 承認を受けようとする農林漁業者等（当該農林漁業者等が団体である場合にあっては、その構成員等を含む。）の農林漁業経営の現状

(2) 農林漁業の六次産業化の目標並びに内容及び実施期間

(3) 農林漁業の六次産業化を実施するために必要な資金（前項の補助金を含む。）の額及びその調達方法

(4) その他規則で定める事項

3 市長は、前項の六次産業化実施計画の提出があった場合において、その六次産業化実施計画が規則で定める基準に適合するものであると認めるときは、その承認をするものとする。

4 第1項の補助金の交付の要件並びに基準及び額その他第1項の補助金に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(六次産業化実施計画の変更等)

第5条 前条第2項の承認を受けた農林漁業者等は、当該承認に係る六次産業化実施計画を変更しようとするときは、規則で定めるところにより、市長の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な変更については、この限りでない。

2 市長は、前条第2項の承認を受けた農林漁業者等(当該農林漁業者等が団体である場合におけるその構成員等を含む。以下「承認農林漁業者等」という。)が当該承認に係る六次産業化実施計画(前項の変更の承認があったときは、その変更後のもの。第7条において「承認六次産業化実施計画」という。)に従って農林漁業の六次産業化を実施していないと認めるときは、その承認を取り消すことができる。

3 前条第3項の規定は、第1項の変更の承認について準用する。

(補助金の交付の決定の取消し等又は返還)

第6条 市長は、前条第1項の変更の承認又は同条第2項の承認の取消しをした場合において、必要があると認めるときは、当該承認農林漁業者等に対し、当該変更の承認又は承認の取消し前の六次産業化実施計画に係る第4条第1項の補助金の交付の決定の全部若しくは一部を取り消し、若しくはその決定した内容若しくはこれに付した条件を変更し、又は既に交付した同項の補助金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

(報告の徴収)

第7条 市長は、承認農林漁業者等に対し、承認六次産業化実施計画の実施状況について報告を求めることができる。

(六次産業化法に基づく総合化事業計画の取扱い)

第8条 市長は、農林漁業者等が六次産業化法第5条第1項の認定を受けた場合において、当該農林漁業者等から当該認定を受けた総合化事業計画の提出があったときは、その総合化事業計画を第4条第2項の承認を受けた六次産業化実施計画とみなして、この条例の規定を適用することができる。

(指導及び助言)

第9条 市長は、農林漁業の六次産業化を実施する農林漁業者等に対し、当該農林漁業の六次産業化の実施に必要な指導及び助言を行うことができる。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定は、公布の日から施行する。

(薩摩川内市補助金等基本条例の規定の特例)

2 第4条第1項の補助金についてこの条例の施行後最初に行うべき薩摩川内市補助金等基本条例(平成18年薩摩川内市条例第40号)第4条第1項の規定による見直しについては、同項の規定にかかわらず、平成30年度において検討を行い、その結果に基づいて、平成31年度において所要の措置を講ずるものとする。

〔資料編2〕 六次産業化実施計画の承認を得た者の事業概要

承認第1号	有限会社神田畜産
事業名	精肉販売及び加工施設整備事業
実施計画期間	平成26～30年度
概要	<p>精肉加工施設及び加工品販売施設を新設し、自社で生産した黒毛和牛を使った新商品（弁当、スモークビーフ等）を開発し販売する。</p> <p>販売については、店舗が川内駅近辺という好立地条件にあるため、新たな消費者（顧客）の拡充を見込んでいる。</p>
事業内容	施設整備、機械設備、加工委託料、宣伝広告費、新商品開発費



承認第2号	崎原製茶
事業名	新商品加工及び販路拡大推進事業
実施計画期間	平成26～30年度
概要	<p>商品の開発は、これまで、自園で生産した緑茶をリーフ茶のみを加工、販売してきたが、新たに、お茶を簡単、手軽に美味しく楽しめるティーバッグ茶、抹茶やプーアル茶の新商品を開発する。</p> <p>また、冷蔵保冷室を整備し、良質な商品の製造、商品の品質管理・保持を行う。</p>
事業内容	施設整備、機械設備、機械購入、市場調査費、宣伝広告費



承認第3号	鷹丸工房
事業名	甌島水産物加工販売事業
実施計画期間	平成27～29年度
概要	<p>これまで、漁師としての経験で得た技術等により、海産物の新たな商品化に取り組む。極小タカエビやソデイカは、出荷時などに破棄される部分もあるため、そのような資源を活用した商品開発を行う。そのため新商品の開発に併せて、加工に必要な機械を整備することで、今まで出来なかった加工品の多量生産が可能となる。</p>
事業内容	機械購入、調査研究費、販路開拓費、事業推進費



承認第4号	株式会社薩摩八重ファーム
事業名	黒豚を使った高付加価値商品の開発・販売事業
実施計画期間	平成27～29年度
概要	<p>一次産業部門である養豚業の安定化と規模拡大を図るため、自社で生産した黒豚及び地場産の農作物を活用した新たな商品開発等に取り組むなど、六次産業化を更に進め、付加価値のより一層の向上を目指す。</p> <p>このことから、加工部門の拡充を図るための加工施設の整備を行う。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、販路開拓費



承認第5号	石沢農園
事業名	トマトの新商品開発事業
実施計画期間	平成27～29年度
概要	<p>トマト栽培面積の増加と併せて、新たな加工品の開発と販路拡大を行い、更なる所得の向上と経営の安定を目指す。</p> <p>新たに、加工に向けたトマトを生産し、このトマトを使用した新商品を製造する。</p> <p>また、これらの新商品の拡充に伴い、加工施設の整備を行う。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、営業許可取得費、販路開拓費、調査研究費



承認第6号	甌フルーツ園株式会社
事業名	まるごとパッションフルーツ新商品開発・加工・販売事業
実施計画期間	平成27～29年度
概要	<p>生産から加工及び販売までの一貫した体制の確立を目指し、今後、生産部門の面積拡大を計画するとともに、ジュース以外の新商品の開発を行い、国定公園に指定された甌島を観光の島として活性化し、自園の所得の向上にもつなげる。</p> <p>このことから、加工部門の拡充を図るための加工施設や販売施設の整備を行う。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、調査研究開発費、販路開拓費



承認第7号	宮園製茶
事業名	有機桑茶等の活用による地域再生・活性化事業
実施計画期間	平成27～2019年度
概要	<p>桑園の面積拡大を行うとともに、有機栽培した桑茶を活用した新商品を健康補助食品として提供し、快適ライフ支援の一役を担うほか、廃園となっている市内の桑園の再生を通じて、地域の雇用の確保と地域の活性化を目指す。</p> <p>これらの新商品の製造に伴い、既存施設を新たに加工場兼直販店舗に改修する。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、営業許可取得費、販路開拓費、調査研究費



承認第8号	近藤農園
事業名	観光農園を活用した直販主体による六次産業化事業
実施計画期間	平成27～30年度
概要	<p>農園での産直（直売と直販）を更に強化するため、六次産業化に取り組み、広報・PR活動の拡大及び未活用の果実を利用した新商品の開発を行い、来園者をターゲットにした販売戦略に努め、自園の売上の向上を目指す。</p> <p>このことから、加工部門の拡充を図るための加工施設の整備を行う。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、販路開拓費



承認第9号	こしきの漁師家 海聖丸
事業名	こしきの魚介類加工・飲食・販売事業
実施計画期間	平成27～2019年度
概要	<p>近年、キビナゴの漁獲量が減少傾向にあるほか、価格が低迷している。</p> <p>このことから、キビナゴに加え、新たに養殖を始めた殻付牡蠣（岩牡蠣）のほか、イカや貝類等を活用しながら、「地元でとれたて、新鮮で安全・安心な海の幸」を最大の売りにして、加工施設と飲食施設を兼ね備えた販売所を整備する。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、販路開拓費



承認第 10 号	有限会社今藤林業
事業名	森林資源の有効活用とオガ粉製造・販売事業
実施計画期間	平成 28～30 年度
概要	<p>自ら生産したスギの低質材を使ったオガ粉を製造し、従来の家畜敷料としての用途に加え、高品質オガ粉を活用した新商品開発や販路の拡大を図る。また、オガ粉を活用した六次産業化事業に対応するための施設整備等を進め、収益の向上と経営の安定を目指し、より一層の経営基盤の強化を図る。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、販路開拓費



承認第 11 号	日笠山水産株式会社
事業名	甌島キビナゴブランド化推進向上事業
実施計画期間	平成 29～2021 年度
概要	<p>甌島が誇る地域ブランド「甌島キビナゴ」の生産の根幹となるキビナゴ漁の維持・発展を図るとともに、自ら漁獲したキビナゴを使った新商品の製造・販売を行うなど、生産・加工・販売を一体化させる六次産業化の取組を強化する。</p> <p>また、後継者育成や雇用の確保を通じて、自らが地域の活性化を牽引できるような存在となるよう努める。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、事業推進費、販路開拓費



承認第 12 号	笹野商事株式会社
事業名	自社製品茶を活用した直販・直営カフェ整備と加工品開発事業
実施計画期間	平成 30～2022 年度
概要	<p>自社生産の緑茶、紅茶及び桑茶を活用した新商品を製造するとともに、飲食店（カフェ）を新設し、急須で淹れたリーフ茶特有の美味しさや、リーフ茶を淹れる時間の楽しみ方など、リーフ茶の魅力を伝えるとともに、地域の新たな憩いの場として活用を図り、地域の活性化に繋げていく。</p>
事業内容	施設整備、機械購入、販路開拓費



〔資料編3〕 市民・農林漁業者・六次産業化アンケート調査の結果

(1) 調査の概要

本計画の策定に当たり、平成30年8月～9月に、3つのアンケート調査を実施しました。

■調査目的

種類	目的
市民アンケート	市民から農産物の購入状況や本市の農産物や農業に対するイメージ等についての意見を聞き、今後の本市の農業政策や六次産業化の取組を検討する上での基礎資料とする。
農林漁業者アンケート	市内の農林漁業者からこれからの農業・農村に対する考え（農業者のみ）や六次産業化の取組意向等についての意見を聞き、今後の本市の農業政策や六次産業化の取組を検討する上での基礎資料とする。 ※農業者・林業者・漁業者に分けて実施。
六次産業化アンケート	六次産業化実施計画の承認者や六次産業化の講習会参加者等からこれまでの事業に対する意見やこれからの六次産業化の取組に当たっての意見等を聞き、今後の本市の六次産業化の取組を検討する上での基礎資料とする。

■調査対象及び調査方法等

種類	調査対象	調査方法・期間
市民アンケート	薩摩川内市民を対象とし、住民基本台帳より無作為に抽出した <u>397人</u>	郵送配布、郵送回収 平成30年8月～9月
農林漁業者アンケート	市内の農林漁業者を対象とし、 農業者は認定農業者名簿から抽出した <u>234人</u> 林業者は市内の林業事業体へ依頼した <u>12人</u> 漁業者は両漁業協同組合の組合員へ依頼した <u>88人</u>	郵送配布、郵送回収 平成30年8月～9月
六次産業化アンケート	六次産業化実施計画の承認者や六次産業化の講習会等の参加者 <u>58人</u>	郵送配布、郵送回収 平成30年8月～9月

■回収状況

種類	有効配布数	有効回収数	有効回収率	※前回結果
市民アンケート	397通	138通	34.8%	151通/400通 (37.8%)
農林漁業者アンケート	農業者：234通 林業者：12通 漁業者：88通	農業者：89通 林業者：8通 漁業者：27通	農業者：38.0% 林業者：66.7% 漁業者：30.7%	農業者： 103通/204通 (50.5%)
六次産業化アンケート	58通	28通	48.3%	—

■留意事項（調査結果の見方）

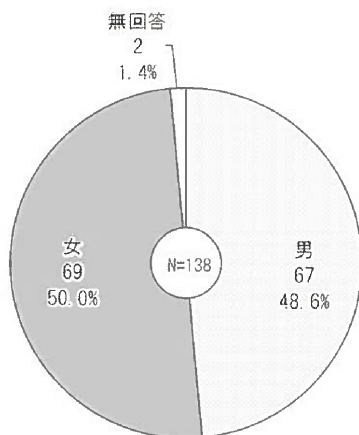
表・グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合があります。また、2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。

図表中の「N」あるいは「n」は、比率算出上の基数（標本数）を表す記号です。「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示しています。

(2) 市民アンケート調査の結果

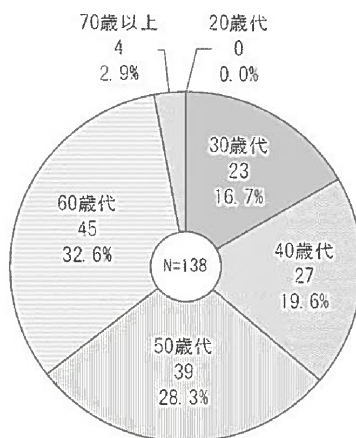
問1 あなたの性別はどちらですか。

「男性」が48.6%、「女性」が50.0%となっている。



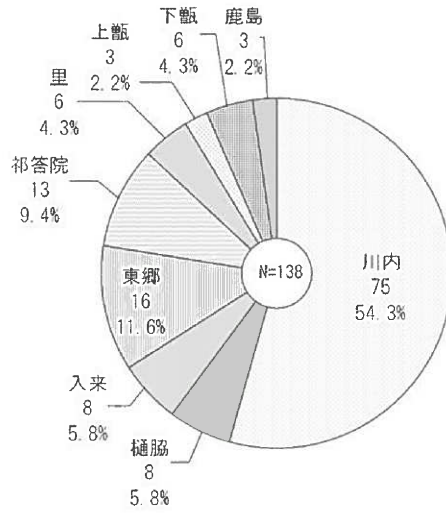
問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

「60歳代」が32.6%で最も多い。次いで「50歳代(28.3%)」「40歳代(19.6%)」となっている。



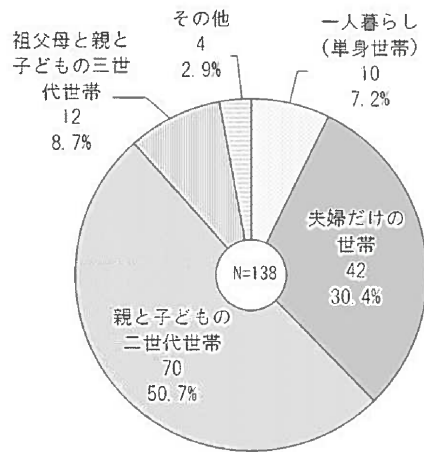
問3 あなたのお住まいの地域は次のうちどれですか。

「川内」が54.3%で最も多い。次いで「東郷(11.6%)」「祁答院(9.4%)」となっている。



問4 あなたの家族構成は次のうちどれですか。

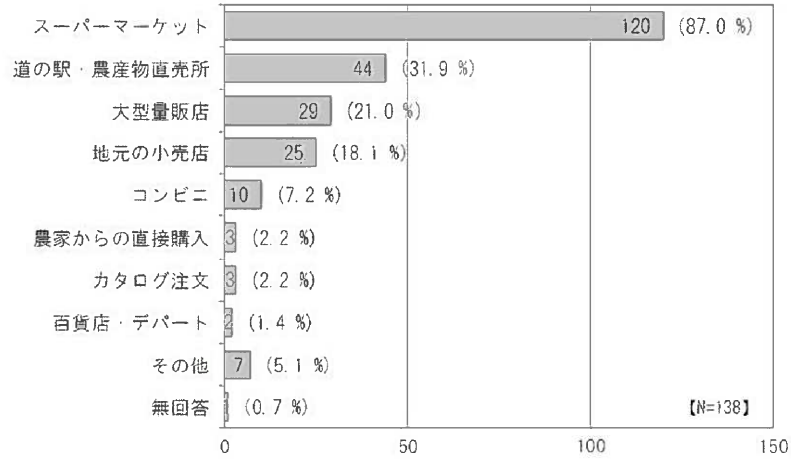
「親と子どもの二世帯世帯」が50.7%で最も多い。次いで「夫婦だけの世帯(30.4%)」となっている。



その他の意見	件数
施設入所中	2
兄、弟、3人暮らし	1
兄妹	1

問5 野菜や果物の購入先について、あなたは、主にどちらで購入しますか。(複数回答)

「スーパーマーケット」が87.0%で最も多い。次いで「道の駅・農産物直売所(31.9%)」となっている。



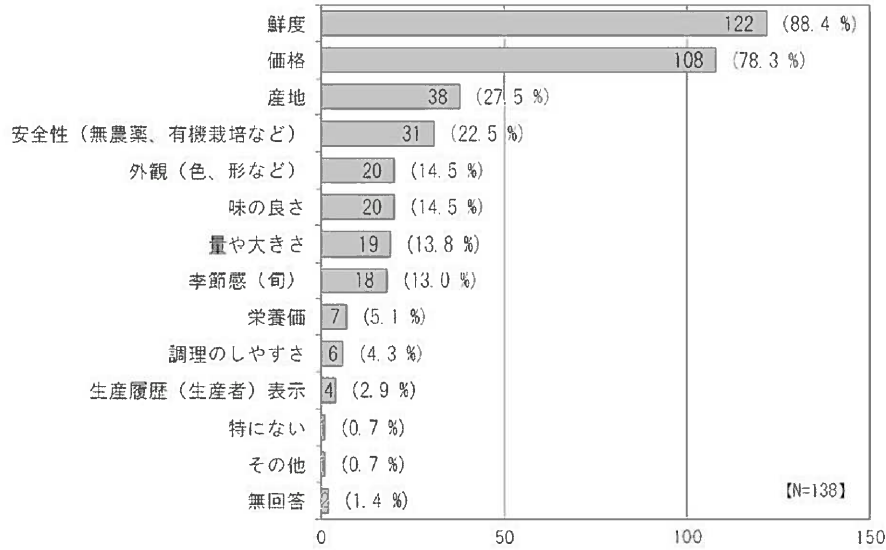
その他の意見
ドラッグストア
Aコープ
自宅の畑
自家菜園
買わない

■各属性のクロス集計結果

		合計	スーパーマーケット	地元の小売店	コンビニ	大型量販店	道の駅・農産物直売所	百貨店・デパート	農家からの直接購入	カタログ注文	その他	無回答
全体		138	120	25	10	29	44	2	3	3	7	1
		100.0%	87.0%	18.1%	7.2%	21.0%	31.9%	1.4%	2.2%	2.2%	5.1%	0.7%
性別	男	67	56	11	6	17	16	1	3	1	3	1
		100.0%	83.6%	16.4%	9.0%	25.4%	23.9%	1.5%	4.5%	1.5%	4.5%	1.5%
	女	69	63	14	4	12	26	1	0	2	4	0
		100.0%	91.3%	20.3%	5.8%	17.4%	37.7%	1.4%	0.0%	2.9%	5.8%	0.0%
年齢別	30歳代	23	19	4	0	4	8	0	2	1	1	1
		100.0%	82.6%	17.4%	0.0%	17.4%	34.8%	0.0%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%
	40歳代	27	24	4	3	5	10	0	0	0	1	0
		100.0%	88.9%	14.8%	11.1%	18.5%	37.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%
	50歳代	39	32	8	5	9	11	1	0	1	1	0
		100.0%	82.1%	20.5%	12.8%	23.1%	28.2%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%
60歳代	45	41	8	2	10	15	1	0	1	4	0	
	100.0%	91.1%	17.8%	4.4%	22.2%	33.3%	2.2%	0.0%	2.2%	8.9%	0.0%	
70歳以上	4	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問6 あなたが野菜や果物を購入するときに重視する点は何ですか。(複数回答)

「鮮度」が88.4%で最も多い。次いで「価格(78.3%)」となっている

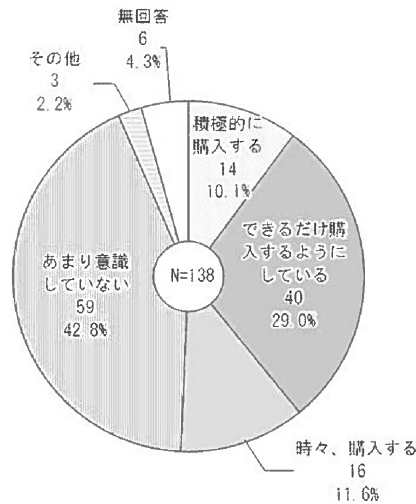


■各属性のクロス集計結果

	合計	鮮度	価格	産地	外観(色、形など)	量や大きさ	季節感(旬)	栄養価	味の良さ	安全性(無農薬、有機栽培など)	生産履歴(生産者)表示	調理のしやすさ	特にない	その他	無回答
全体	138 100.0%	122 88.4%	108 78.3%	38 27.5%	20 14.5%	19 13.8%	18 13.0%	7 5.1%	20 14.5%	31 22.5%	4 2.9%	6 4.3%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%
性別															
男	67 100.0%	58 86.6%	50 74.6%	15 22.4%	15 22.4%	9 13.4%	4 6.0%	4 6.0%	10 14.9%	16 23.9%	2 3.0%	4 6.0%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.0%
女	69 100.0%	63 91.3%	56 81.2%	23 33.3%	5 7.2%	9 13.0%	14 20.3%	3 4.3%	10 14.5%	13 18.8%	2 2.9%	2 2.9%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%
年齢別															
30歳代	23 100.0%	19 82.6%	19 82.6%	7 30.4%	4 17.4%	4 17.4%	3 13.0%	2 8.7%	3 13.0%	3 13.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%
40歳代	27 100.0%	24 88.9%	22 81.5%	7 25.9%	5 18.5%	3 11.1%	1 3.7%	2 7.4%	3 11.1%	5 18.5%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%
50歳代	39 100.0%	33 84.6%	31 79.5%	9 23.1%	4 10.3%	3 7.7%	10 25.6%	0 0.0%	8 20.5%	8 20.5%	4 10.3%	2 5.1%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%
60歳代	45 100.0%	42 93.3%	34 75.6%	13 28.9%	7 15.6%	8 17.8%	4 8.9%	2 4.4%	5 11.1%	14 31.1%	0 0.0%	2 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
70歳以上	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問7 あなたが野菜や果物を購入するとき、薩摩川内市産の農作物や農作物加工品を意識して購入していますか。

「あまり意識していない」が42.8%で最も多い。次いで「できるだけ購入するようにしている(29.0%)」となっている。



その他の意見
中国産、外国産以外のみ確認
国産であればどれもOK

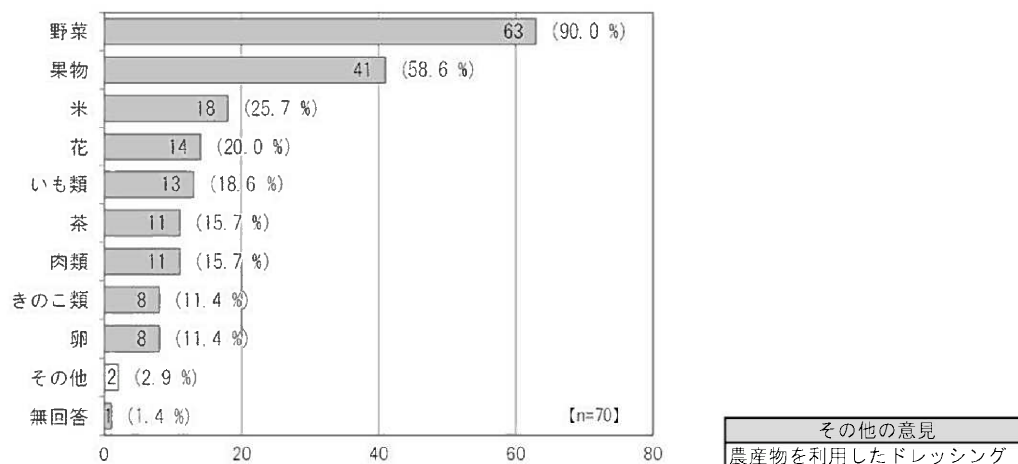
■各属性のクロス集計結果

		合計	積極的に購入する	できるだけ購入するようにしている	時々、購入する	あまり意識していない	その他	無回答
全体		138	14	40	16	59	3	6
		100.0%	10.1%	29.0%	11.6%	42.8%	2.2%	4.3%
性別	男	67	2	17	6	36	1	5
		100.0%	3.0%	25.4%	9.0%	53.7%	1.5%	7.5%
性別	女	69	11	23	10	22	2	1
		100.0%	15.9%	33.3%	14.5%	31.9%	2.9%	1.4%
年齢別	30歳代	23	3	5	3	10	0	2
		100.0%	13.0%	21.7%	13.0%	43.5%	0.0%	8.7%
	40歳代	27	2	8	4	12	0	1
		100.0%	7.4%	29.6%	14.8%	44.4%	0.0%	3.7%
	50歳代	39	2	11	5	18	2	1
		100.0%	5.1%	28.2%	12.8%	46.2%	5.1%	2.6%
年齢別	60歳代	45	7	13	4	18	1	2
		100.0%	15.6%	28.9%	8.9%	40.0%	2.2%	4.4%
年齢別	70歳以上	4	0	3	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

※問7で「1. 積極的に購入する」、「2. できるだけ購入するようにしている」、「3. 時々、購入する」のいずれかを選択された方にお聞きします。

問8 あなたはどのような薩摩川内市産の農産物や農産加工品を購入しますか。(複数回答)

「野菜」が90.0%で最も多い。次いで「果物(58.6%)」となっている。



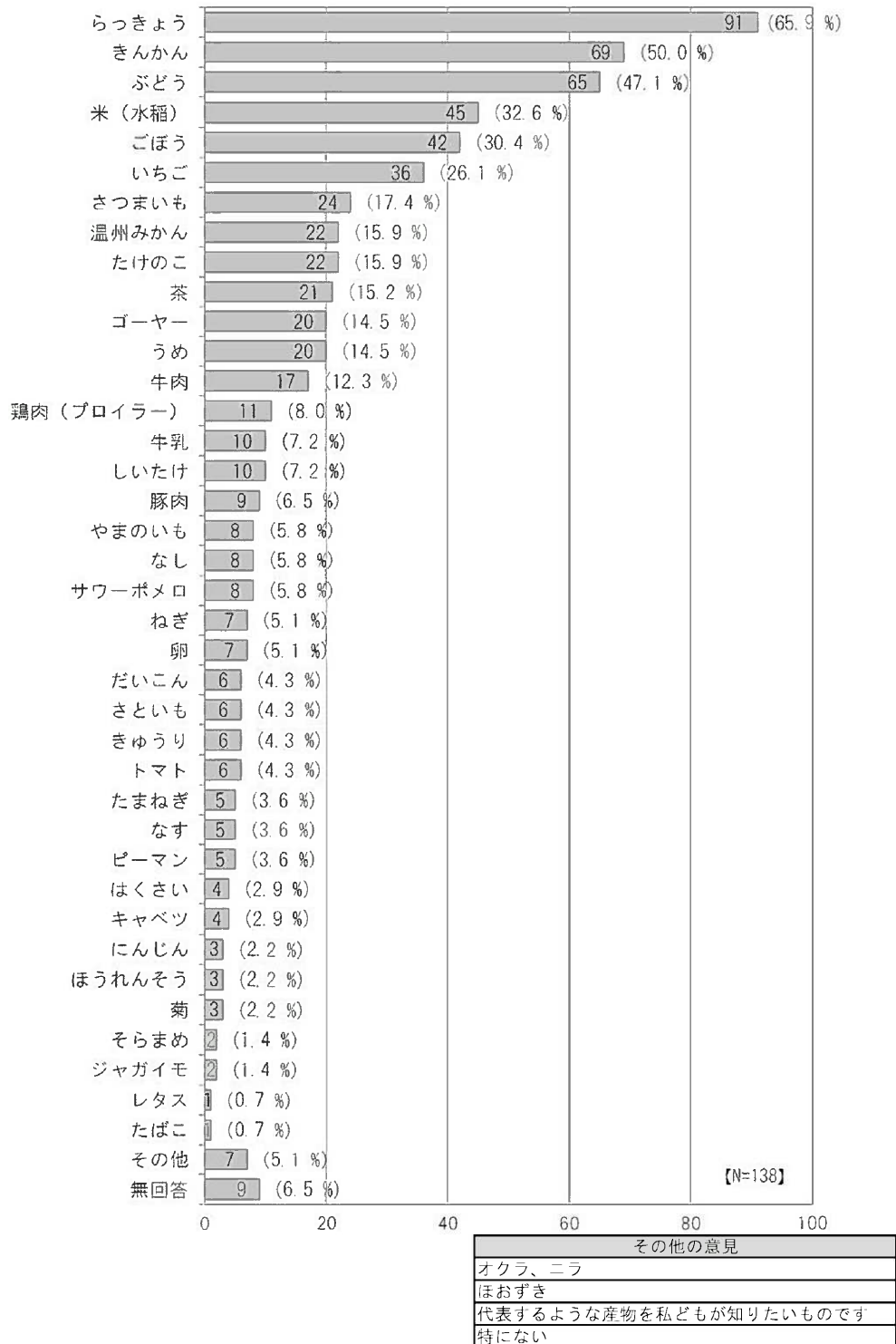
■各属性のクロス集計結果

		合計	米	野菜	果物	花	茶	いも類	きのこ類	卵	肉類	その他	無回答
全体		70	18	63	41	14	11	13	8	8	11	2	1
		100.0%	25.7%	90.0%	58.6%	20.0%	15.7%	18.6%	11.4%	11.4%	15.7%	2.9%	1.4%
		25	7	23	15	6	5	3	2	3	3	0	1
性別	男	100.0%	28.0%	92.0%	60.0%	24.0%	20.0%	12.0%	8.0%	12.0%	12.0%	0.0%	4.0%
	女	44	11	39	25	7	6	10	5	5	7	2	0
		100.0%	25.0%	88.6%	56.8%	15.9%	13.6%	22.7%	11.4%	11.4%	15.9%	4.5%	0.0%
年齢別	30歳代	11	2	8	3	1	1	3	0	0	1	2	1
		100.0%	18.2%	72.7%	27.3%	9.1%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%
	40歳代	14	2	13	12	2	1	7	1	1	1	0	0
		100.0%	14.3%	92.9%	85.7%	14.3%	7.1%	50.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%
	50歳代	18	5	17	10	4	4	1	1	3	3	0	0
		100.0%	27.8%	94.4%	55.6%	22.2%	22.2%	5.6%	5.6%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
60歳代	24	9	22	15	7	3	2	5	4	6	0	0	
	100.0%	37.5%	91.7%	62.5%	29.2%	12.5%	8.3%	20.8%	16.7%	25.0%	0.0%	0.0%	
70歳以上	3	0	3	1	0	0	2	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

問9 あなたは薩摩川内市を代表する農産物は何だと思いますか。(複数回答)

「らっきょう」が65.9%で最も多い。次いで「きんかん(50.0%)」「ぶどう(47.1%)」となっている。

年齢別でみると、30歳代は「きんかん」「ぶどう」が60.9%で最も多い。



■各属性のクロス集計結果

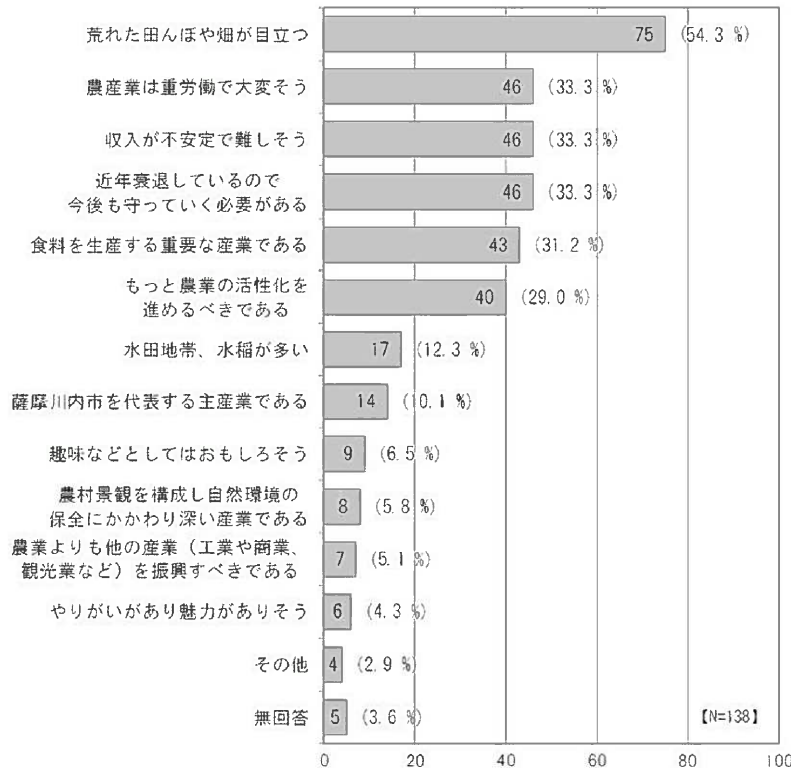
		合計	米(水稲)	らっきょう	ごぼう	そらまめ	さつまいも	やまのいも	だいこん	にんじん	ジャガイモ	さといも	はくさい	キャベツ	ほうれんそう
全体	合計	138	45	91	42	2	24	8	6	3	2	6	4	4	3
	100.0%	100.0%	32.6%	65.9%	30.4%	1.4%	17.4%	5.8%	4.3%	2.2%	4.3%	2.9%	2.9%	2.2%	
	男	67	22	43	23	1	10	5	2	1	1	4	1	0	2
性別	女	69	23	46	18	1	14	3	4	2	1	2	3	4	1
	100.0%	100.0%	33.3%	66.7%	26.1%	1.4%	20.3%	4.3%	5.8%	2.9%	1.4%	2.9%	4.3%	5.8%	1.4%
	30歳代	23	6	13	4	1	6	0	2	2	2	1	1	0	1
年齢別	40歳代	27	5	19	9	0	2	1	0	0	0	1	1	1	2
	50歳代	39	15	24	11	1	5	4	1	0	0	0	1	0	0
	60歳代	45	17	31	17	0	10	3	3	1	0	3	1	3	0
	70歳以上	4	2	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		合計	レタス	ねぎ	たまねぎ	きゅうり	なす	トマト	ピーマン	ゴーヤー	いちご	なし	うめ	温州みかん	サワーポメロ
全体	合計	138	1	7	5	6	5	6	5	20	36	8	20	22	8
	100.0%	100.0%	0.7%	5.1%	3.6%	4.3%	3.6%	4.3%	3.6%	14.5%	26.1%	5.8%	14.5%	15.9%	5.8%
	男	67	0	3	1	1	2	2	2	9	11	2	6	7	4
性別	女	69	1	4	4	5	3	3	3	10	24	6	14	14	4
	100.0%	100.0%	1.4%	5.8%	5.8%	7.2%	4.3%	4.3%	4.3%	14.5%	34.8%	8.7%	20.3%	20.3%	5.8%
	30歳代	23	1	1	1	3	2	2	2	3	6	2	6	6	1
年齢別	40歳代	27	0	2	1	0	0	0	1	10	3	6	2	2	
	50歳代	39	0	0	0	0	1	2	8	7	3	3	4	1	
	60歳代	45	0	4	3	3	2	3	8	13	0	5	9	3	
	70歳以上	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%

		合計	さんかん	ぶどう	茶	たばこ	菊	牛乳	牛肉	豚肉	鶏肉(ブロイラー)	卵	しいたけ	たけのこ	その他	無回答
全体	合計	138	69	65	21	1	3	10	17	9	11	7	10	22	7	9
	100.0%	100.0%	50.0%	47.1%	15.2%	0.7%	2.2%	7.2%	12.3%	6.5%	8.0%	5.1%	7.2%	15.9%	5.1%	6.5%
	男	67	33	27	8	1	1	5	9	3	5	3	7	12	4	6
性別	女	69	34	37	13	0	2	5	7	6	6	4	3	10	3	3
	100.0%	100.0%	49.3%	53.6%	18.8%	0.0%	2.9%	7.2%	10.1%	8.7%	8.7%	5.8%	4.3%	14.5%	4.3%	4.3%
	30歳代	23	14	14	6	1	1	1	2	3	3	2	3	1	1	2
年齢別	40歳代	27	14	13	2	0	0	1	3	0	0	0	1	3	2	2
	50歳代	39	13	16	6	0	2	4	1	0	3	5	2	5	3	2
	60歳代	45	26	19	6	0	0	4	9	6	5	0	4	11	1	3
	70歳以上	4	2	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0
	100.0%	100.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

問10 あなたは薩摩川内市の農業イメージについてどう思われますか。(複数回答)

「荒れた田んぼや畑が目立つ」が54.3%で最も多い。次いで「農産業は重労働で大変そう(33.3%)」「収入が不安定で難しそう(33.3%)」「近年衰退しているのでも今後も守っていく必要がある(33.3%)」となっている。



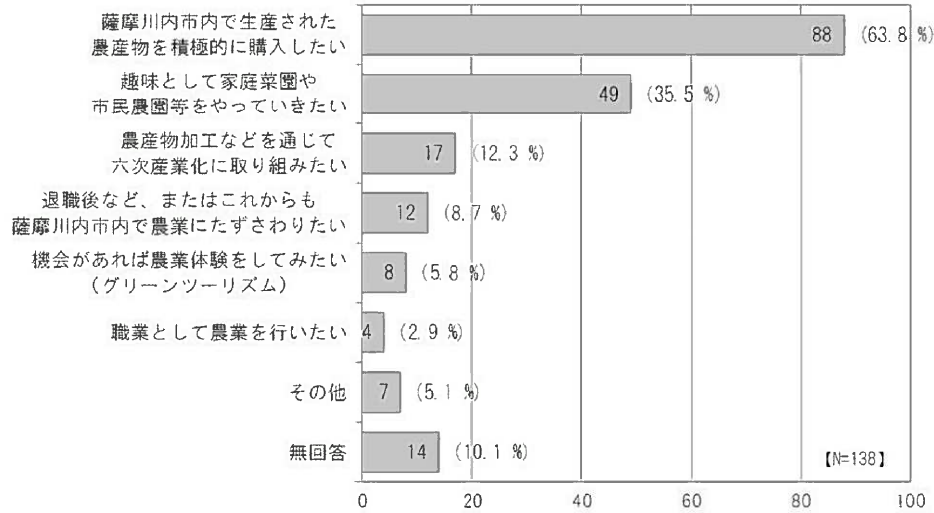
その他の意見
若い人が農業をしていない。又、少ないイメージ
スーパー等に地産地消のコーナーがあり、色々な方々が作っていらっしやるのだと思う

■各属性のクロス集計結果

	合計	食料を生産する重要な産業である	薩摩川内市を代表する主産業である	やりがいがあり魅力がありそう	趣味などとしてはおもしろそう	水田地帯、水稲が多い	荒れた田んぼや畑が目立つ	農産業は重労働で大変そう	収入が不安定で難しそう	近年衰退しているのでも今後も守っていく必要がある	もっと農業の活性化を進めるべきである	農業よりも他の産業(工業や商業、観光業など)を振興すべきである	農村景観を構成し自然環境の保全にかかわり深い産業である	その他	無回答
全体	138	43	14	6	9	17	75	46	46	46	40	7	8	4	5
	100.0%	31.2%	10.1%	4.3%	6.5%	12.3%	54.3%	33.3%	33.3%	33.3%	29.0%	5.1%	5.8%	2.9%	3.6%
性別	男	67	17	3	3	4	11	32	20	24	21	5	2	1	4
	100.0%	25.4%	7.5%	4.5%	6.0%	16.4%	47.8%	29.9%	35.8%	34.3%	31.3%	7.5%	3.0%	1.5%	6.0%
女	69	24	8	3	5	6	42	25	21	22	17	2	5	3	1
	100.0%	34.8%	11.6%	4.3%	7.2%	8.7%	60.9%	36.2%	30.4%	31.9%	24.6%	2.9%	7.2%	4.3%	1.4%
年齢別	20歳代	23	9	4	1	2	5	9	13	6	4	7	0	2	0
	100.0%	39.1%	17.4%	4.3%	8.7%	21.7%	39.1%	56.6%	26.1%	17.4%	30.4%	0.0%	8.7%	0.0%	4.3%
	40歳代	27	10	2	2	1	2	11	9	4	12	9	1	2	1
	100.0%	37.0%	7.4%	7.4%	3.7%	7.4%	40.7%	33.3%	14.6%	44.4%	33.3%	3.7%	7.4%	3.7%	3.7%
	50歳代	39	10	2	1	3	5	19	10	16	13	11	2	3	1
100.0%	25.6%	5.1%	2.6%	7.7%	12.8%	46.2%	25.6%	41.0%	33.3%	28.2%	2.6%	5.1%	7.7%	2.6%	
60歳代	45	12	6	2	3	4	24	12	18	16	12	5	2	0	
100.0%	26.7%	13.3%	4.4%	6.7%	8.9%	75.6%	26.7%	40.0%	35.6%	26.7%	11.1%	4.4%	0.0%	4.4%	
70歳以上	4	2	0	0	0	1	3	2	2	1	1	0	0	0	
100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問 11 あなたは、薩摩川内市の農業振興に向けて、あなた自身どのようにかかわることができると思いますか。(複数回答)

「薩摩川内市内で生産された農産物を積極的に購入したい」が63.8%で最も多い。



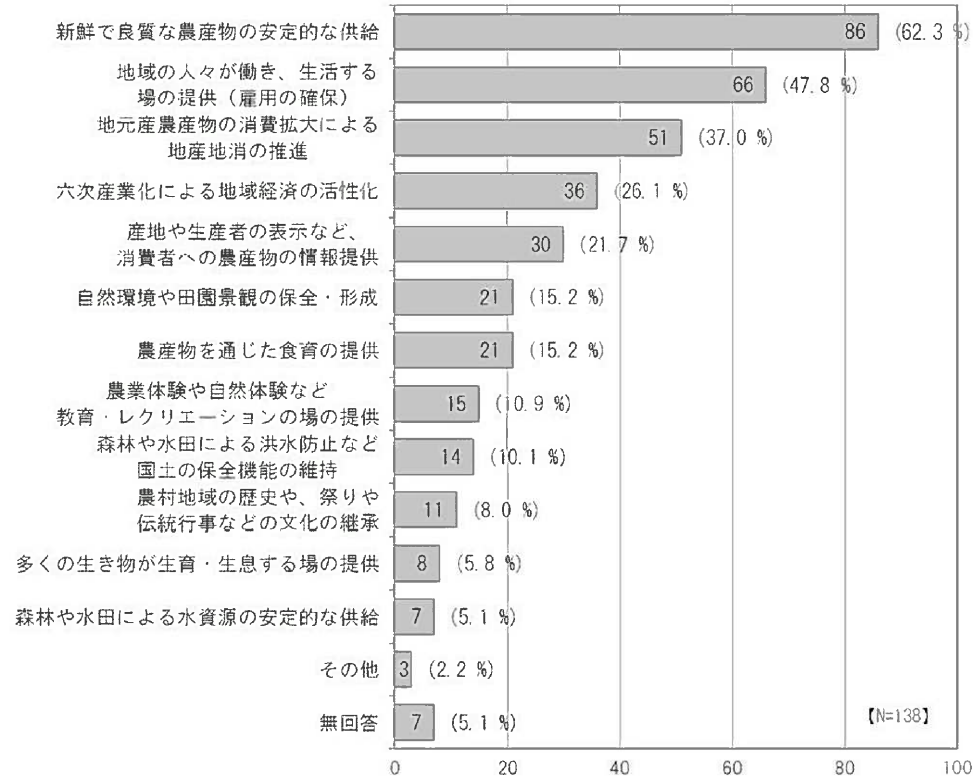
その他の意見
農業を行っている
考えたことがない
退職後、農業はやらないと決めていた
特になし

■各属性のクロス集計結果

	合計	薩摩川内市内で生産された農産物を積極的に購入したい	機会があれば農業体験をしてみたい(グリーンツーリズム)	趣味として家庭菜園や市民農園等をやっていききたい	農産物加工などを通じて六次産業化に取り組みたい	退職後など、またはこれからも薩摩川内市内で農業にたずさわりたい	職業として農業を行いたい	その他	無回答
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全体	138	88	8	49	17	12	4	7	14
	100.0%	63.8%	5.8%	35.5%	12.3%	8.7%	2.9%	5.1%	10.1%
性別	男	67	34	2	20	10	2	4	10
	100.0%	50.7%	3.0%	29.9%	14.9%	14.9%	3.0%	6.0%	14.9%
女	69	52	6	29	7	2	2	3	4
	100.0%	75.4%	8.7%	42.0%	10.1%	2.9%	2.9%	4.3%	5.8%
年齢別	30歳代	23	14	5	7	3	3	1	1
	100.0%	60.9%	21.7%	30.4%	13.0%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%
	40歳代	27	17	2	7	6	3	2	1
	100.0%	63.0%	7.4%	25.9%	22.2%	11.1%	7.4%	3.7%	14.8%
	50歳代	39	25	0	12	4	1	0	4
	100.0%	64.1%	0.0%	30.8%	10.3%	2.6%	0.0%	10.3%	7.7%
60歳代	45	29	1	22	4	4	1	1	
100.0%	64.4%	2.2%	48.9%	8.9%	8.9%	2.2%	2.2%	13.3%	
70歳以上	4	3	0	1	0	1	0	0	
100.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問12 あなたは、薩摩川内市の農業・農村がどのような役割を果たしていくことが重要であるとお考えですか。(複数回答)

「新鮮で良質な農産物の安定的な供給」が62.3%で最も多い。次いで「地域の人々が働き、生活する場の提供(雇用の確保)(47.8%)」「地元産農産物の消費拡大による地産地消の推進(37.0%)」となっている。



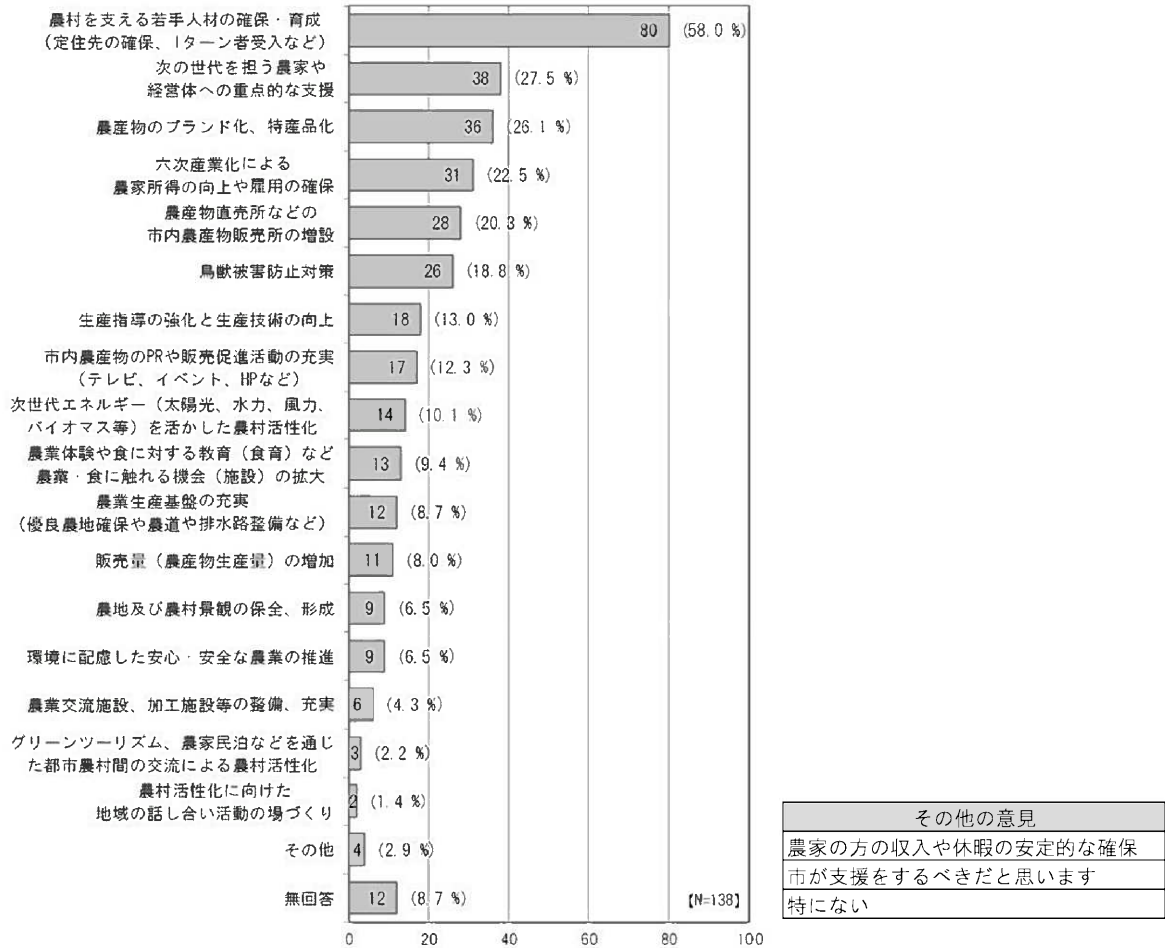
その他の意見
新しく始める人に対し援助が必要ではないですか
特にない

■各属性のクロス集計結果

	合計	新鮮で良質な農産物の安定的な供給	産地や生産者の表示など、消費者への農産物の情報提供	地元産農産物の消費拡大による地産地消の推進	六次産業化による地域経済の活性化	地域の人々が働き、生活する場の提供(雇用の確保)	多くの生き物が生育・生息する場の提供	森林や水田による洪水防止など国土の保全機能の維持	森林や水田による水資源の安定的な供給	自然環境や田園景観の保全・形成	農業体験や自然体験など教育・レクリエーションの場の提供	農産物を通じた食育の提供	農村地域の歴史や、祭りや伝統行事などの文化の継承	その他	無回答
全体	138	86	30	51	36	66	8	14	7	21	15	21	11	3	7
	100.0%	62.3%	21.7%	37.0%	26.1%	47.8%	5.8%	10.1%	5.1%	15.2%	10.9%	15.2%	8.0%	2.2%	5.1%
性別															
男	67	36	10	26	21	29	2	9	4	10	9	8	5	2	6
	100.0%	53.7%	14.9%	38.8%	31.3%	43.3%	3.0%	13.4%	6.0%	14.9%	13.4%	11.9%	7.5%	3.0%	9.0%
女	89	49	20	25	14	35	6	5	2	10	6	13	6	1	1
	100.0%	71.0%	29.0%	36.2%	20.3%	50.7%	8.7%	7.2%	2.9%	14.5%	8.7%	18.8%	8.7%	1.4%	1.4%
年齢別															
30歳代	23	14	7	9	3	8	3	4	0	3	4	6	1	1	2
	100.0%	60.9%	30.4%	39.1%	13.0%	34.8%	13.0%	17.4%	0.0%	13.0%	17.4%	26.1%	4.3%	4.3%	8.7%
40歳代	27	19	8	6	10	16	1	2	4	4	1	2	3	0	1
	100.0%	70.4%	29.6%	22.2%	37.0%	59.3%	3.7%	7.4%	7.4%	14.8%	3.7%	7.4%	11.1%	0.0%	3.7%
50歳代	39	22	7	14	12	14	3	3	3	4	4	10	3	1	1
	100.0%	56.4%	17.9%	35.9%	30.8%	35.9%	7.7%	7.7%	7.7%	10.3%	10.3%	25.6%	7.7%	2.6%	2.6%
60歳代	45	28	7	19	11	26	0	4	2	10	6	3	3	1	3
	100.0%	62.2%	15.6%	42.2%	24.4%	57.8%	0.0%	8.9%	4.4%	22.2%	13.3%	6.7%	6.7%	2.2%	6.7%
70歳以上	4	3	1	3	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0%	75.0%	25.0%	75.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問 13 あなたは、薩摩川内市の農業・農村を振興していくためにどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

「農村を支える若手人材の確保・育成(定住先の確保、Iターン者受入など)」が58.0%で最も多くなっている。

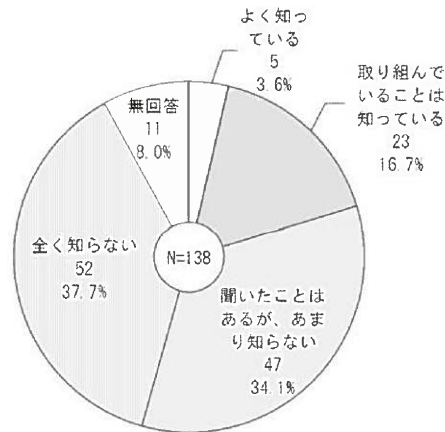


■各属性のクロス集計結果

	合計	農村を支える若手人材の確保・育成(定住先の確保、Iターン者受入など)	次の世代を担う農家や経営体への重点的な支援	農産物のブランド化、特産品化	販売量(農産物生産量)の増加	六次産業化による農家所得の向上や雇用の確保	農産物直売所などの市内農産物販売所の増設	生産指導の強化と生産技術の向上	農地及び農村景観の保全、形成	農業交流施設等の整備、充実	その他	無回答
全体	138	80	38	36	11	31	28	18	9	6	4	12
性別												
男	67	58.0%	27.5%	26.1%	8.0%	22.5%	20.3%	13.0%	6.5%	4.3%	2.9%	8.7%
女	69	53.7%	20.9%	32.8%	6.0%	22.4%	17.9%	17.9%	9.0%	4.5%	2.2%	5.5%
年齢												
30歳代	23	62.3%	31.9%	20.3%	10.1%	23.2%	23.2%	7.2%	4.3%	4.3%	1.1%	1.1%
40歳代	27	69.6%	56.5%	26.1%	8.7%	30.4%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	3.7%
50歳代	39	53.0%	20.5%	25.6%	7.7%	28.2%	20.5%	17.9%	5.1%	5.1%	2.0%	4.3%
60歳代	45	57.8%	15.6%	26.7%	4.4%	15.6%	24.4%	8.9%	11.1%	11.1%	2.2%	8.7%
70歳以上	4	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 14 薩摩川内市では、平成 25 年 7 月に「薩摩川内市農林漁業の六次産業化の促進に関する条例」を制定して以降、農林漁業者による六次産業化を積極的に推進してきました。薩摩川内市における六次産業化の取組をご存知ですか。

「全く知らない」が 37.7% で最も多い。次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない (34.1%)」となっている。



■各属性のクロス集計結果

		合計	よく知っている	取り組んでいることは知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	全く知らない	無回答
全体		138	5	23	47	52	11
		100.0%	3.6%	16.7%	34.1%	37.7%	8.0%
性別	男	67	1	13	24	22	7
		100.0%	1.5%	19.4%	35.8%	32.8%	10.4%
	女	69	4	9	23	29	4
		100.0%	5.8%	13.0%	33.3%	42.0%	5.8%
年齢別	30歳代	23	1	5	4	12	1
		100.0%	4.3%	21.7%	17.4%	52.2%	4.3%
	40歳代	27	1	3	10	12	1
		100.0%	3.7%	11.1%	37.0%	44.4%	3.7%
	50歳代	39	0	6	13	16	4
		100.0%	0.0%	15.4%	33.3%	41.0%	10.3%
	60歳代	45	3	7	19	11	5
	100.0%	6.7%	15.6%	42.2%	24.4%	11.1%	
70歳以上	4	0	2	1	1	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	

問 15 その他、薩摩川内市の農業・農村が目指すべき姿や六次産業化のあり方について、ご意見・ご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

年齢	性別	自由意見
30 歳代	男	生産牛をしている農家の補助金が多すぎます。
	女	もっと取り上げるべき。農業へもっと若い人達が興味を持って欲しい。農業に関心があっても大変とか生活が安定していくか不安な人達がいると思うので、補助金等安定していけるように機械等にも出して欲しい。
		とても良い作物を生産していらっしゃるの、市の補助金などを使い、本土への輸送、販売等ができれば、薩摩川内市ブランドとして有名になるのではないかと思います。インターネット販売なども人気が出る可能性があると思います。ふるさと品の購入したい人は、たくさんいるのではと思います。応援しています。
		地域内の希望者が気軽に利用できる、集う場としての機能を持った加工場の整備の需要の高さと必要性を日々感じています。
40 歳代	男	農産物のブランド化。知名度を上げるため。
		次世代エネルギーを活かした農業もですが、例えば、温泉を利用した農業を考えてみても良いのではないのでしょうか（古いこいの村やさざらし温泉等）。私力だけでは実現できそうにないですが、市が主導して設備・技術を整えることができれば雇用の場が増えると考えます。一考してみても。
		市が所得の向上や雇用の確保に積極的に関与しなければ長続きしない。公営企業の設立や民間企業からの支援を得られるような新商品を開発する（農産物を絞り込む）こと。薩摩川内市の目立った農産物はまだない。
	行政と地域住人との連携ができてなく、行政だけが独り舞台のようで、地域住人との温度差を感じる。これは農業だけでなく他の事にも共通している。本当に住人の事を考えているとは思えない。	
	女	私は転居してきて思ったのは、農業の農作物、漁業の水産物がどこでどう売っているのかという情報が少なすぎると感じました。情報があれば、行ってみようかなと思います。情報がないと知らないまま、また別の町に転居することになり、口コミが一番安心できるし信頼できます。分かりやすいいい情報が欲しいです。
無回答	自分は農業に携わっていないので、よく理解できていないです。六次産業についても初めて知りました。もっと皆様に知ってもらう機会、場所とかを作られたらいいかでしょうかと思いました。	
50 歳代	男	農業をやりやすいようにして欲しい。 空き家の利用。民泊を一般の家庭でも手軽にできるように改善する。年配者の活用。多様な副業を認める。
	女	各農家毎の耕作面積が小さくて経費ばかりがかかるし利益も少ないから、共同体的に地域で組織的に経営を行い、若手に責任を任せて、地域で加工販売まで一気に地産地消に取り組んでもらい、どこかとりあえずモデルケースを成功するよう市でバックアップする。必要なら県外からでもコンサルを頼んで、とにかく一つ成功例を作り上げる。
		5年も前から取り組まれています。全く知りませんでした。他の市民の方はどの位知っておられるのでしょうか。
		スーパーで六次産業化の商品の即売会で買物をしたことがあります。名前が堅苦しいイメージで初めは何だろうという感じでした。参加されている農家の方も少ないように思えました。

年齢	性別	自由意見
60 歳代	男	少子高齢化に伴い、田、畑、山林の荒廃が目立つ。公社による上記の景観の保全、形成を希望します。
		3K のイメージからの脱出。大型機械導入貧乏にならないように。
		昨今、輸入物が多く安価に販売されています。これが国産、地元の農産物になると、価格が輸入物より倍くらい高く、量は輸入物の半分くらいで手が出ません。だからといって輸入物は生産性が分からないし、薬品を何でも使っている外国商品もあります。買いたくありません。買い手も地産地消の物を購入したいです。それには価格と量のバランスをとって欲しいです。
		若い人が楽しんでやってくれるように取り組んでもらいたい。現在は個人にまかせっきりでないですか。1 番はお金の問題ではないですか。
		田んぼも持ってはいますが、米作りをしたくても共同作業が多くて仕事を持っていると出て行けない。又、1 反、2 反作るのに農業機械を全部揃えられない等、なかなか難しいです。
	女	農地・林地の転用を規制して欲しい（農村景観や自然環境保全から。特にソーラーシステムや風力発電など）。
		荒れた田・畑が多いので有効に活用できないでしょうか。
		若い方々の農業・生産など参加してくれることができればとてもありがたいですが。周りは 70 代から 80 代の方々の地区ですので…なかなかです。
	無回答	農業、特に生き物を扱う仕事。年中休みなく病気や伝染病などの心配もあり、保全・環境などに手間がかかりすぎて、次の世代へ引き継ぐのに難しいと感じている。